

建築をつくる会社として今、できること



持続可能な開発目標

なぜSDGsに取り組む必要があるのか？

企業価値と社会価値が同軸に乗る経営の実現(これからの企業経営に最も求められること)

経済成長至上主義ではなく、あくまで豊かな暮らしを支えるための様々な経済活動を充実させた結果としての経済成長

経済価値と同列に社会価値が捉えられる。経済価値を優先して社会価値を犠牲にする経営者は淘汰される。

自社の事業が成長すれば成長するほど、より持続可能になるような事業構造を追求する経営を目指したい。

持続可能な社会を実現することが、史上最大級のビジネスチャンス。

重要なことは、リスクを取らないというのではなく、可能な限り「正しいリスク」を取ること。

事業戦略と一体化した本業での課題解決。

社会や環境に対して責任をもてる企業でありたい。

私たち人間の行為はすべて、基本的にはサステナブルではない。地球にとっては私たち人間のあらゆる活動が大なり小なり負荷でしかない。だから私はこう言う、「責任を持とう」と。我社はサステナブル・カンパニーではない。レスポンシブル・カンパニーだ。私は我社が責任ある企業でありたいと思っている。
(イヴォン・シュイナード)

会社概要

株式会社 菅組

- ・売上: 84.7億 (2019年9月実績)
- ・社員数: 149名 (技能者29名含む)
- ・営業エリア: 香川県一円、愛媛県東部

特徴

- **一般建築**: 官庁工事、病院、工場、事務所、商業建築他 (約52億)
- **住宅**: 木造、RC、S等 (約8.3億)
- **リノベーション**: 住宅、一般建築 (約21.5億)
- **社寺建築**
- **土木** (3億)

- * 直営大工 (宮大工も)
- * 設計・施工一貫システム (自社設計が全体の6割前後)
- * 住宅・リノベーション工事の比率が高い
- * 木造建築の普及 (一般建築も・・・)

明治四十二年十月五日





妙見宮(昭和9年竣工)



松賀屋(大正5年上棟)

伝統技術をつなぐ

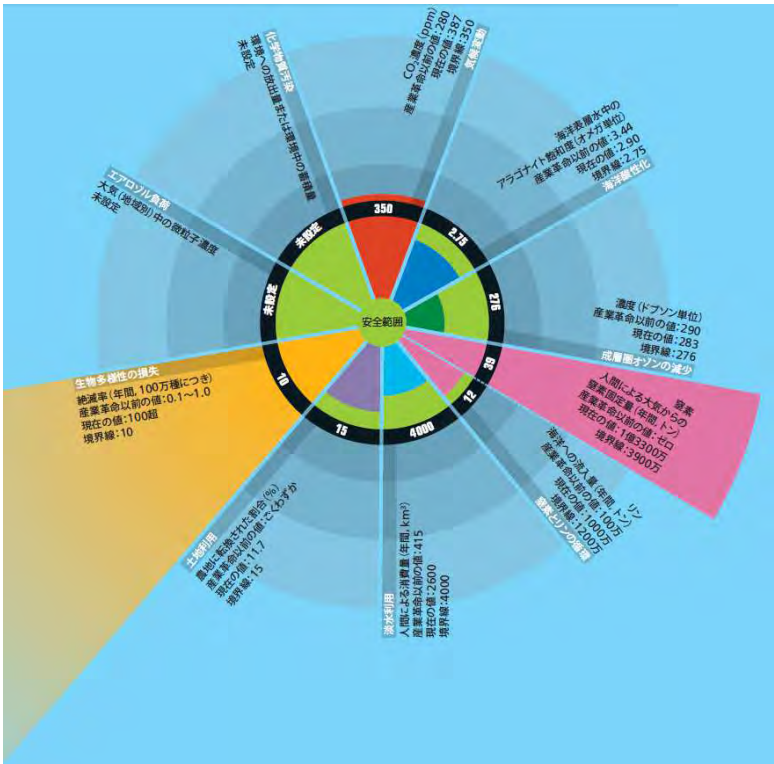


地球の境界(プラネタリー・バウンダリー) Planetary Boundaries

「地球の境界(プラネタリー・バウンダリー)」とは、「その境界内であれば、人類は将来世代に向けて発展と繁栄が続けられるが、境界(閾値)を越えると、急激な、あるいは取り返しのつかない環境変化が生じる可能性がある」境界のことです。

9つの境界のうち3つの領域では既に閾値を超えていることがわかります。

生物多様性の保全は気候変動(地球温暖化)同様あるいはそれ以上に、私たちが最優先で取り組まなければならないテーマだと考えています。



気候変動、海洋の酸性化、成層圏のオゾンの破壊、窒素とリンの循環、世界的な淡水利用、土地利用の変化、生物多様性の損失、大気エアロソルの負荷、化学物質による汚染

森林破壊



世界の森林は刻々と減少しています
そのスピードは、5年間で日本の総面積分に...

チプコの森

私たちはチプコと呼ばれている
チプコとはインド語で”抱きつく”という意味
私たちは木が切られないように木に抱きつく
木と共に切られてすでに200人の仲間が死んだ
今、あなたがたの国からたくさんの人が来て、たくさんの木を切り、たくさんのダムを作ろうとしている
ダムが出来ると森が沈み、私たちは生きていけない
このようなことが行われないために、私たち10万人のチプコは水に沈む覚悟をした
よく聞いて欲しい
私たちは決して貧しくない、私たちは豊だ
私たちは何も欲しくない、ダムも電気もお金も
あなた方は経済という宗教に取り憑かれてしまった
神様はお金、儀式は開発、生け贄は地球
神様からの贈り物は飢えと公害と戦争
開発は自然を殺し、一時の富をもたらすが永遠の生活と幸せを失う
私たちは開発ではなく、幸せを求めている
小さな土地と少しの水、少しの食べ物で十分なのだ
幸せはお城の中でなく、自然の中にある
悩みは欲の中にあり、幸せとは欲から解放されること
あなた方はどうして、その当たり前のことを忘れてしまったのか？
あなた方はどこに行くのか？



Yes to life ! No to death ! Yes to life ! No to death !

(1992.5.3 モントリオール会議:インド代表 ”チプコ運動の父”スンダルラル・パフグナ氏)

菅組環境方針(企業としてやるべきこと、やらねばならないこと)

Since 2016.10.1



讃岐の宮大工として創業し、100年以上の長きにわたり、この地域に深く根を下ろし、この土地の気候と風土、文化、伝統に支えられてきた菅組は、この土地の風景をつくること、文化と伝統を継承することの一端も担ってきたと自負しています。
今後さらに長い将来にわたって郷土の美しい自然と風景、長く続いた文化と伝統を守り伝えていくために、菅組はできるかぎり地域の環境を、そして地球の環境を保全する事業を行います。
そのために、特に以下の項目に配慮をして事業を行ってまいります。

- 1.【**持続可能な原材料**】
生物多様性と生態系への影響を考慮し、持続可能な原材料を使用することに努めます
- 2.【**地産地消**】
国産材・地域産材を積極的に使用することで、輸送における環境負荷を減らすと同時に、地域の生態系と産業を活性化します
- 3.【**自然素材**】
お客様の健康と地域の自然と風景を守るために、環境負荷の低い、なるべく自然由来の素材を使用します
- 4.【**地域の生物多様性の保全**】
外構計画には原則として在来種の植栽を施すことや自然な景観を作ることを心がけ、地域の自然とともに生物多様性の保全を促進します
- 5.【**環境共生建築**】
設計と施工の両段階を通じて環境性能の高い、環境と共生する建築をつくります
- 6.【**伝統技術と文化の継承**】
自然の知恵を活かした伝統的な技術や文化を継承します
- 7.【**全社員役員の実践**】
菅組の全社員役員は、環境の保全と持続可能な地域を作るという考え方の伝達者・実践者となります。そのために、環境についての社内教育を継続的にを行い、社員役員の意識を高めます
- 8.【**地域との連携**】
お客様をはじめとする地域社会との連携を通じて、持続可能で、美しく、誇りが持てる地域(環境・社会・経済)をつくります



地域社会との関わり

- ・ 古木里庫(古材格納庫)
- ・ 古民家リノベーション
- ・ 風景としての建築(まちなみ・家並み・素材・ペーハ小屋)
- ・ アルベルゴ・ディフューゾ(宿泊事業)

環境との共生

- ・ パッシブソーラー(OMソーラー・びおソーラー)
- ・ 自然素材の家(脱塩ビ・脱石油製品)
- ・ 薪ストーブ(カーボンニュートラル)
- ・ 草屋根
- ・ 木の家・木の建築
- ・ 近くの山の木で家をつくる運動(2001年)
- ・ 大黒柱伐採ツアー(2002年～継続中)→大黒箸・大黒バッジ
- ・ 木材デューディリジェンス(違法伐採木材等の排除)
- ・ 鎮守の森PROJECT
- ・ 生態系としての庭づくり(生物多様性保護の視点での造園、ビオトープ)
- ・ 社会貢献の森(菅組感謝の森)

木の家・木の建築



「木とともに」(コーポレートメッセージ)

木造建築の推進

非住宅の建築(医療福祉施設、幼稚園・保育所、事務所、店舗他)もできるだけ木造に。
木造以外の建築にもできるだけ木を使う。

なぜ木造か？

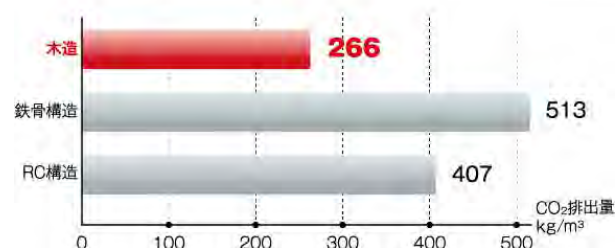
木造建築は他の工法に比べて環境負荷が小さい

- 1.建設・製造時のCO2排出量が少ない
- 2.炭素を固定化する
- 3.持続的森林管理につながる
- 4.再生可能な資源である
- 5.耐久性が高い(法隆寺は1300年以上)

木材は健康に良い(生理面・心理面に良い影響)



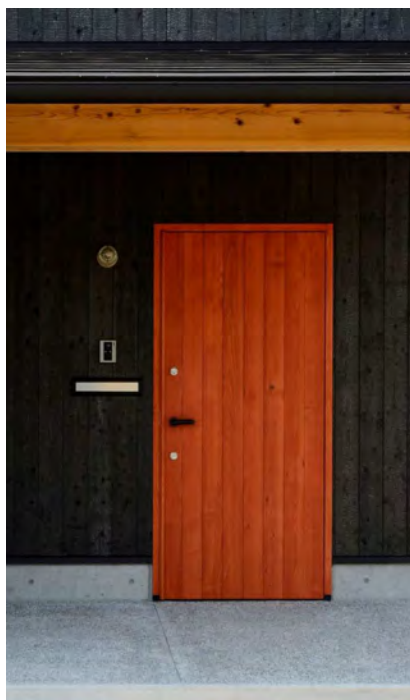
工法によるCO₂排出量の違い





- ・国産材の利用推進
- ・讃岐舎など「木の家」の普及(国産材を前面に押し出した自然素材住宅)
- ・香川県産桧の利用促進(香川県みどり整備課)
木の家具、木の建具製作販売(古木里庫) 構造材の利用促進、床板への利用

香川県産材を使う



讃岐舎オリジナル玄関ドア
(2008～)



県産檜無垢フローリング
(2009～)

県産檜の家具 小径木間伐材利用

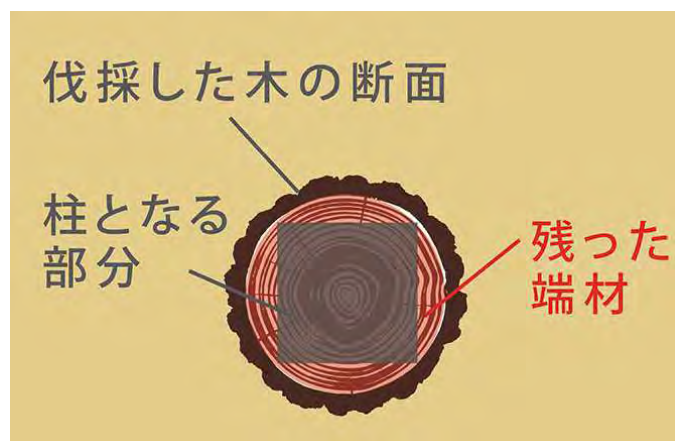
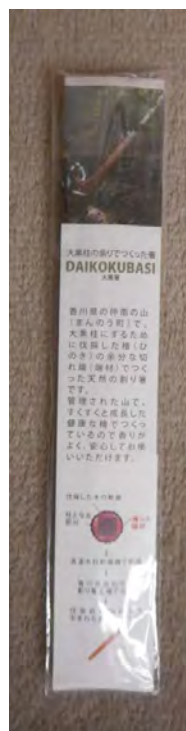


大黒柱伐採ツアー

2002年～ 香川県唯一の専業林業家と仲南の森にて(毎年1回以上)
2019年11月現在-73組の大黒柱を伐採



大黒箸 DAIKOKUBASHI



檜の大黒柱を採った残りの端材から割り箸を作りました。

大黒箸と名付けました。

大黒バッジ



目標15
大黒柱伐採ツアーでの
端材(香川県産ひのき)
を使用しています。



目標8
ピンの取付けは障がい者
が持たれる方に作業して
いただいています。

日本の人工林は適切に管理することで
森林が保全されます。
使うことで森が元気になる。
この小さなバッジはそのほんの1歩です。
ミクロの世界がマクロの世界を変える。
そんな大きな希望をもった小さなバッジ
です。

DD = DUE DILIGENCE

DUE DILIGENCE (デューディリジェンス)

当然に実施すべき注意義務及び努力

木材デューディリジェンス

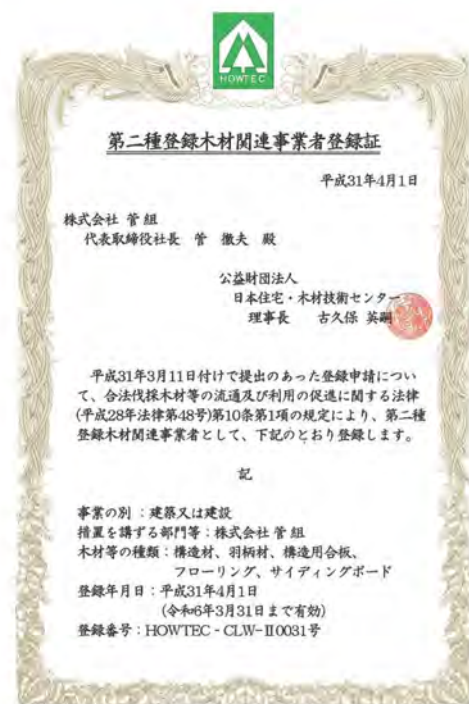
違法でないことを確実にするための確認や調査

フェアウッド調達を進める
(フェアウッドとは、伐採地の森林環境や地域社会に配慮した木材・木材製品)

木材調達基準の策定



(FAIRWOOD PARTNERS 森林の見える木材ガイドより)



クリーンウッド法(2017年施行) 事業者登録
DD実施義務

フェアウッド調達

よりよいフェアウッド調達に向けて

こんな木材は買わないようにします！

- ☒ 絶滅危惧種
- ☒ 違法に生産・取引された木材
- ☒ 森林や海洋など生態系に悪影響を与えている木材
- ☒ 先住民族や地域社会の権利や生活環境、労働者の権利などに悪影響を与えている木材

こんな木材を買っていきます！

- ☐ 信頼のある森林認証を受けた木材
- ☐ 廃材、リサイクル材
- ☐ 輸送負荷の少ない木材

(FoE Japan「木材を扱う業界のためのデューディリジェンス対策ハンドブック」より)

調達対象

- ☐ 木材全般(無垢・集成・CLTなど)
- ☐ 合板(構造用合板・化粧合板)
 - ・「讃岐舎」では床構造用合板T28、野地構造用合板T15を全層国産唐松のものを使用
- ☐ コンパネ(型枠用合板)・・・自社独自の使用規制等
- ☐ 製作建具(仕上材・芯材)
- ☐ 製作家具(仕上材・芯材)
- ☐ 既製品建具(仕上材・芯材)
- ☐ 既製品家具(仕上材・芯材)
- ☐ 木質系建材全般
 - ・合板フローリング
 - ・その他

木材・木質系建材調達ガイドライン (案)

	木材・木質系建材調達ガイドライン	
1	可能な限り国産材を使用する(人工林から伐り出されたもの)	
2	可能な限り四国産の木材を使用する(人工林から伐り出されたもの)	
3	香川県産材を積極的に使用する(人工林から伐り出されたもの)	
4	違法伐採の可能性がある木材は使用しない(熱帯林等保護の観点より)	Fair Wood区分C以上
5	伐採地環境負荷の大きい樹種は使用しない	Fair Wood区分C以上
6	樹種の絶滅危惧リスクの高い木材は極力使用しない	Fair Wood区分B以上
7	輸送負荷(ウッドマイルズ)を考慮した樹種選定	

鎮守の森 Project

宮脇方式 (本物の森をつくろう)

- ・ 潜在自然植生
- ・ シイ、タブ、カシが主
- ・ 密植・混植
- ・ 55種類・5500本 (2009年9月 菅組本社)
- ・ 3本で森、5本で森林
- ・ 一坪鎮守
- ・ 三本木鎮守 (新築時にプレゼント)

2010年以降も菅生会にて継続
建築 (住宅) 工事の外構にも提案



since 2009.9

菅組本社の鎮守の森



生態系としての庭づくり（造園事業）

建築の外構工事としての造園

外構計画における植栽は、地域の生態系に配慮した在来種で構成し、庭そのものがビオトープとしての機能を持つよう配慮する。樹種構成は地域の里山をイメージしたもので。水辺を作ったり、石積みを使用するなど生態系の多様性を表現した造園を特徴とする。

エコロジカルネットワーク

我々のつくる庭が街の中に点在することで、エコロジカルネットワーク（ビオトープネットワーク）を形成し地域に広がっていくことを目標とする。



菅組感謝の森（社会貢献の森）

菅組は林野庁（四国森林管理局 香川森林管理事務所）と「社会貢献の森」という森林整備活動に関して平成24年に協定を締結し、以来毎年国有林の間伐や枝打ちなどの森林整備活動を行っています。

- 【概要】
- (1)位置：香川県綾歌郡綾川町粉所東原国有林42林班と8小班
 - (2)面積：2.39ha
 - (3)林況：昭和60年植栽のヒノキ人工林
 - (4)主な活動内容：枝打ち、間伐等



四国森林管理局

森林管理局へようこそ | 報道・広報 | 森林管理局の仕事 | 公営・入札情報

文字の大きさ・色を変えるには | このサイトの使い方 | サイトマップ

ホーム > 森林管理等の概要 > 香川森林管理事務所 > 「社会貢献の森」における森林整備等活動の協定の締結について(菅組)

「社会貢献の森」における森林整備等活動の協定の締結について

香川森林管理事務所は、下記のとおり「社会貢献の森」における森林整備等活動の協定を締結しましたので、公表します。

記

1協定の相手方の名称

株式会社 菅組 代表取締役社長 菅 徹夫

2社会貢献の森の概要

社会貢献の森とは、企業の社会的責任(CSR)活動等を目的とした植栽、保育等の森林整備を自ら又は事業者に委託して、一定期間継続的に行う活動です。

(1)位置

香川県綾歌郡綾川町粉所東原国有林42林班と8小班

(2)面積

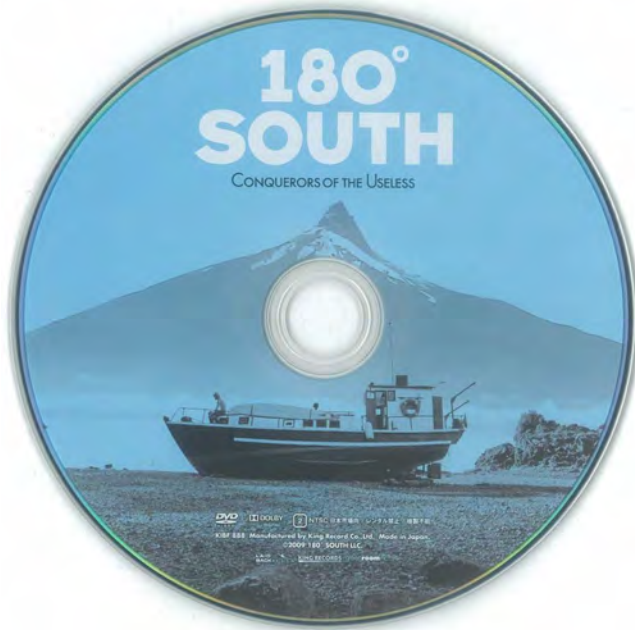
2.39ha

(3)林況

昭和60年植栽のヒノキ人工林

(4)主な活動内容

枝打ち、間伐等



人間は環境を破壊している意識がないから—
意識して生きることが重要だ。

皆 後戻りできないと言うが

目の前がガケなら？

そのまま突き進むか 回れ右をして—

前に進むか

どっちがいいと思う？

世界中のほとんどの問題は

方向転換すれば解決する

欠陥のあるシステムを維持する必要はない

未開の地を訪れるたびに

僕は変わっていく

それが続くとは限らない

自然が消失すれば人類も絶滅する

Yvon Chouinard
Douglas Tompkins